

盛大な結成会を挙行

会員の団結と母校の発展期し

都 竹 武 年 雄 (十四回)

支部 窓部 同陽 朝中



写真は中部支部の懇親会

名古屋を中心として中部地区の最近の躍進振りは目覚ましいものがあり、会員の拡大も急激に増加している。朝陽会支部の結成についてはかねて会員相互間、気運が醸成されてきたが、早くも実を結び、去る二月一日別荘のように第一回懇親会を開催、盛んに中部支部の結成を行い、会員の団結と母校発展への努力を誓い合った。

今後中部地区への転勤、転住、在校生の旅行等は是非支部宛連絡され度い。

第二回懇親会申合事項

☆名称 朝陽会中部支部
☆連絡先 名古屋市中区広小路通り 三愛商事K・R名古屋支店 石炭課長 山森恒吉 (支部長第 一回卒) 電話(23)二二二一

一、役員 支部長 山森恒吉 (旧 姓寺倉) 副支部長 吉田春一郎 和田芳雄 幹事 新坂大典 時田信 森本真佐男 橋友彦 天野和茂 植木恒道 (三重県 地区担当) 大野國雄 (岐阜県 地区担当) 都竹武年雄 (庶務 連絡)

二、中部支部旗を作る件 校章及び朝陽の文字を入れた旗を作り、今後の会合及び在校生の修学旅行出迎等に利用する。

三、会合 会合は年二、三回とし内一回は家族をも含めた懇親会とした。次回は四月中旬予定。

中部支部第一回懇親会 一月一日 別所愛吉 (B) 先生を囲みC、B、C会館で 愛知、三重、岐阜の

会員二十数名集る。

当日は三重県久居町新町で懇々自導されている旧副、別所愛吉先生をお招きし、参事若原愛知、三重、岐阜の三県にまたがる会員二十数名が参集した。吉田副支部長の御好意で新築成ったB、C会館に集合し館内を一巡した後、一階

のサロンで懇親会を開催した。別所先生は懐かに口許の舞が白くなられただけで往年の容姿に全く変わりなく、とても七十歳の御歳とは思われぬかくしやく振りで、今にも身命がああ口許から飛び出そうな発動なる話し振りに、思わず母校の校庭にいる様な錯覚を感じたのは筆者のみではなかつたらしい。

初期卒業の大先輩はいづれも卒業以来、三十年、二十年振りという再会が多く、お互に青春の六中時代を懐かしむは勿論、先輩、後輩を精々共通の話題は次から次へと

話に花が咲き、初対面も年代も吹き飛ばして一瞬に朝陽の大衆精神に触れ合う感激を新にした。それは長年の間「朝陽」のリスムに培われた母校愛の大団の響きとも感ぜられた。 六中、新徳高校と名称は違つても「朝陽」の伝統は希きなく受け継がれ、これを中心に先輩、後輩益々団結を固くした母校の発展、朝陽同窓会の飛躍的發展を願し最後に朝陽会中部支部の方談を別所先生の冒頭で三唱して、再会を約して散会した。